

≡≡≡支部だより≡≡≡

関西支部2003年度第3回例会(近畿地区)開催のお知らせ

2003年度関西支部第3回例会(近畿地区)を次の日程で開催します。

詳細は、関西支部(電話:06-6949-6323, または電子メール:msj-knsi@ma.kcom.ne.jp)までお問い合わせください。また関西支部のホームページ

<<http://webclub.kcom.ne.jp/ma/msj-knsi/>>

に、最新のプログラムなどを掲載いたしますので一部確認下さい。

開催日:2004年2月24日(火)10時から

会場:神戸大学海事科学部(旧神戸商船大学)
総合学術交流棟1階コンファレンスホール
(神戸市東灘区深江南町5-1-1)

テーマ:「海洋と気象」

プログラム

10:00~11:20

開会の挨拶

宇治 豪(海洋気象学会理事長, 神戸海洋気象台長)

- 平成15年(2003)十勝沖地震の前兆現象
* 薩谷泰資(イオン情報研究所・神戸イオン商会)
- 一次元波動方程式に見る数学論理と物理論理について * 齊藤行正
- 蒸発量について * 門田通俊(潮岬測候所)
- クローズドパス法による地表面CO₂フラックスの評価 * 谷口大介(岡山大学自然科学研究科)・塚本 修(岡山大学理学部)

11:30~12:30

- 関西国際空港で観測された翼端渦
* 金井義文・関野裕功(関西航空地方気象台)
- 神戸周辺地域の局地強風に六甲山地が与える影響
* 清原康友(神戸大学自然科学研究科)・山中大学(神戸大学自然科学研究科/FORSGC)
- 六甲山の気象-季節変化と季節内変動
* 三宅里香(神戸大学自然科学研究科)・山中大学(神戸大学自然科学研究科/FORSGC)

13:40~14:40

<特別講演> 帆船と海洋・気象学のはじめ

* 井上篤次郎(海洋気象学会会長, 元神戸商船大学長)

14:50~15:50

- 大阪都市圏における夏季の降水形態の変遷について
* 三尾谷雅俊・竹見哲也・玉井昌宏(大阪大学工学研究科)
- 瀬戸内海における二酸化炭素の鉛直分布測定
* 山下栄次(岡山理科大学技科研)・田中義将・町田友彦(岡山理科大学総合情報学部)・川崎 聡・桃坂信幸(岡山理科大学大学院)

- WINDAS データを用いた台風0310号(Etau)の温低化に関する研究 * 藤田浩史(神戸大学理学部)・手柴充博(京都大学宙空電波科学研究センター)・梅本泰子(神戸大学自然科学研究科)・柴垣佳明(大阪電気通信大学)・橋口浩之・深尾昌一郎(京都大学宙空電波科学研究センター)・山中大学(神戸大学自然科学研究科/FORSGC)

16:00~17:00

- 観測船「みらい」を用いた海面乱流フラックスの連続測定(2)
* 高見仁佑・高橋聡司(岡山大学自然科学研究科)・塚本 修(岡山大学理学部)・石田廣史(神戸大学海事科学部)
- 線状降水系の発達に及ぼす温度・湿度プロファイルの影響
* 竹見哲也(大阪大学工学研究科)
- ENSO 期間を含む TOPEX/Poseidon 衛星高度計によるジャワ海の平均海面水位の推定
* 香西克俊(神戸大学海事科学部)

閉会の辞

大西晴夫(日本気象学会関西支部長, 大阪管区気象台長)

17:30~19:00

懇親会(学術交流棟1階コンファレンスホールラウンジ, 一般3,000円, 学生1,000円)

